



所定昇給額+4000円のベアを回答

本部申21号・2024年賃金改定に関する申し入れ 回答を受ける

中央本部は3月8日、申21号・2024年賃金改定に関する申し入れの第3回団体交渉を行い、経営側より回答を受けました。
組合側は席上妥結を行わず持ち帰り議論することを通告しました。

定期昇給 エルダー賃金は要求通り回答

定期昇給については要としました。
求通り、昇給係数「4」での実施とする回答であることを確認しました。
ベースアップについて、

社員一律での基本給1万2000円引き上げの要求に対して、所定昇給額と同一の額および4000円を加えるとの回答になった理由を質しました。

経営側は、基本給において職責の占める割合が大きいことから反映させたことと回答しました。
平均1万0598円、3・15%という額を導き出した根拠を質しました。

経営側は、構造改革や融合と連携、チャレンジが含まれ、物価高騰と社員の生活状況も踏まえた結果だとする一方で、第二基本給を

本部申21号に対する経営側の回答

【令和6年4月1日現在、満55歳未満の社員】

・定期昇給を実施し、その際の昇給係数は4とする。

・基本給改定を実施し、基本給に対し所定昇給額と同一の額及び4000円を加える。

【令和6年4月1日現在、満55歳以上の社員】

・基本給改定を実施し、令和6年4月1日現在の基本給額に対し、在級する等級により前項に準じて計算した額を加える。

【エルダー社員】

・基本賃金改定を実施し、基本賃金に6000円を加える。

【令和6年4月1日現在、満55歳以上の社員】

・基本給改定を実施し、令和6年4月1日現在の基本給額に対し、在級する等級により前項に準じて計算した額を加える。



◆ 東日本ユニオンの要求は社員一律1万2000円であり、回答とは乖離があることから、残りの約14000円の積み上げを求めました。

◆ 経営側は、ベースアップという形で基本給を引き上げると長期にわたり人件費に影響を及ぼすことになるため支払い体力の有無という話ではなく、この先の見通しも踏まえた上での上の回答だとしました。

組合側は、総額人件費に影響を与えるのは基本給加える。

【テンポラリースタッフ】

・基本賃金改定を実施し、1時間当たりの賃金額に70円を加える。

【精算日】(予定)

・令和6年6月25日(火)とする。

【第二基本給の廃止】

(口頭にて回答)

・現行制度で妥当であり、廃止する考えはない。

改定だけでなく社員数の増減も大きいはずだと訴え、社員数は減少傾向とする会社の認識をふまえて繰り返し再考を求めました。
経営側は、会社として申し上げた中身が最終回答であり、再度検討する考えはないとしました。
組合側は席上妥結を行わず、持ち帰り議論することを通告し団体交渉を終えました。

「生活が苦しい」「今年こそは…」

賃上げを望む社員の声 東日本ユニオンに続々と寄せられる

本部が2月13日に申し入れを提出して以降、東日本ユニオンに多くの声寄せられています。

● ベースアップ実施

・1万2000円上がって、も物価上昇に追いつかないけど、上がらないと本当に困る。

● 格差ベアに反対

・役割や業務が増えているのは一般社員も同じ。管理者ばかり手当が上がるのは納得いかない。

● 4係数での定期昇給

・定期昇給を2係数で行った事で優秀な人材を失い、確保も難しくなった。また「定期昇給4係数は確定ではない」などと言ふのか。社員の生活への安定感を得られない。

● 業務量増加・質の向上

・運転士や車掌をしたり、業務融合は大変。気の遣い所が違うので疲れるの

本部団体交渉本日開催!

申22号
「総合的な処遇改善の実施について」に関する申し入れ

申23号
「ジョブ型人事運用の実施について」に関する申し入れ

2024年
3月15日(金)
10時00分より

賃上げを望む社員の声

に賃金は上がらない。様々なことにチャレンジなど良いことを言うが、社員にやらせるだけやらせて見返りが何もない。

・やることは増えているのに給料が増えないのはおかしい。やりがいを感じられない。

● 厳しい生活状況

・生活がギリギリ。今年は給料が上がって欲しい。社会保険料も上がっているし、いつまでも手取りが増えない。

● 子供の学費を考えると将来的に不安。安心できるだけの給料が欲しい。

● 好調な会社業績

・通期予想を上方修正して配当金も上げる。社員の給料も上がらなければやる気も出ない。

● キュンパスの影響が列車がメチャメチャ混んでいて回復を実感する。

● 前向きな世間動向

・トヨタやホンダなど自動車業界が高水準で満額回答している。JR東日本も満額回答して欲しい。

● 周りの会社は積極的に賃上げしているが、社長がテレビで賃上げを抑制するような発言を聞いてがっかりした。

● 経営への不安・不満

・若い社員が転職をする度に、この会社に未来はないのかと思わされる。会社の事を色々やらされているのに賃金が低ければ、若い人は見放すに決まっている。離職者が出ないような回答を望む。

● 第二基本給廃止
・第二基本給ができた経緯をしっかりと踏まえて廃止に入社する時には第二基本給なんて知らなかった。